

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動学実習 (作業療法学科中心)		必修 (作) 選択 (福)	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
海保 享代 他	C317	kaiho	木 9:00~12:00		
授業の目的・概要	運動学 I・II で学んだ知識を用いて、実際に関節や筋、動きを観察・測定し、運動を的確に判断できるようになることを目的とする。また、3 年次以降の演習・実習等にて必要となる基礎的知識の習得を目的とする。筋・骨の触診はペアごとに確認を行い、実技試験を実施する。各実習は数名程度のグループに分け、提示した課題の測定や計測を行う。得られた実習結果についてグループ内で討論し発表準備を行う時間を設ける。発表後に提出されたレポート、小テストを行うことで知識の確認を行う。				
学習上の助言	この授業では運動学で学んだ知識が必要となるので、授業の教科書を復習しておくことが望ましい。ペアやグループでの確認や話し合い、発表することによって理解度は大きく向上する。実技は反復練習が重要である。				
教科書	15 レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学実習 編:石川朗他 出版社:中山書店				
参考書	筋骨格系のキネジオロジー 第3版 著:Donald A. Neumann 出版社:医歯薬出版 機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版 監:青木隆明 出版社:メジカルビュー 機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版 監:青木隆明 出版社:メジカルビュー 基礎運動学 第6版補訂 著:中村隆一他 出版社:医歯薬出版				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	筋や骨の触診をして実際に部位や収縮を確認できる。			OT (2)	
②	実習結果を運動学的に分析し、身体運動・動作の特徴や仕組みを理解する。			OT (2)	
③	実習を通じて運動学的計測手法について理解する。			OT (2)	
④	分析結果をまとめ、発表することができる。			OT (2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション レポートの記載方法、発表方法について説明する。	講義	配布資料を読み、レポート記載の方法や文献による情報収集について復習する。	1	
2	実習①: 関節運動 (上肢・下肢・体幹) ・膝関節肢位の違いによる股関節の角度 ・肩甲上腕リズム ・テノデーシスアクションによる手指関節角度の変化 ・骨盤前後傾に伴う脊柱の動き ・立位での股関節屈曲時の骨盤の動き	講義・実習	上肢・下肢・体幹の機能的解剖・動きについて確認する。(教科書 11~22、35~49、67~76 ページ)	2	
3・4	実習①の討論	GW、討論	実習の成果をまとめ、考察しレポート・発表用のスライド資料を作成する。	2	
5	実習①の発表	発表	各グループで発表準備を行う。	2	
6	実習②: 姿勢分析・重心・立ち直り反応 ・安静立位姿勢のアライメント評価 ・身体重心位置と支持基底面の関係 ・感覚入力の違いによる立位時重心動揺の影響 ・外乱時の立ち直り・バランス反応の観察 ・機能的リーチ検査	小テスト 講義・実習	姿勢・重心・バランス反応について確認する。(教科書 97~116)	2	
7・8	実習②の討論	GW、討論	実習の成果をまとめ、考察しレポート・発表用のスライド資料を作成する。	2	
9	実習②の発表	発表	各グループで発表準備を行う。	2	
10	オリエンテーション、レポートの記載方法説明 骨・筋の触診 (上肢): 上肢の骨や筋を観察し、実際に触れて確認する。	講義・実習	上肢の骨・筋の位置、触診について確認する。(教科書 23~34 ページ)	2	

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

11・12	骨・筋の触診（下肢・体幹）：下肢・体幹の骨や筋を観察し、実際に触れて確認する。	実習	下肢・体幹の骨・筋の位置、触診について確認する。(教科書 1～10、57～66 ページ)	2
13・14	触診の確認：骨・筋の触診を実技にて確認する。	小テスト	骨・筋の位置、触診について確認する。(教科書 1～10、23～34 ページ)	2
15	実習③：立ち上がり・歩行動作の分析 ・立ち上がり動作（足部位置の違い） ・寝返り動作 ・起き上がり動作 ・歩行動作	小テスト 講義・実習	立ち上がり・歩行についての動作について復習する。(教科書 87～96、131～152 ページ)	2
16・17	実習③の討論	GW、討論	実習の成果をまとめ、考察レポート・発表用のスライド資料を作成する。	2
18	実習③の発表	発表	各グループで発表準備を行う。	2
19	実習④：CPX・筋力の測定 ・膝関節トルクの計測（ハンドヘルド） ・手関節肢位の変化による握力発揮の違い ・6分間歩行テスト（6MWT） ・心肺運動負荷試験（CPX）	小テスト 講義・実習	関節トルク、運動時の生理的反応について確認する。(教科書 49～52、77～86、153～165)	2
20・21	実習④の討論	GW、討論	実習の成果をまとめ、考察レポート・発表用のスライド資料を作成する。	2
22	実習④の発表	発表	各グループで発表準備を行う。	2
23	実習④のテスト	小テスト	配布資料を読み、CPX や筋力について確認する。	1
試				

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		40	20	40	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	10	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	20	10	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
			試験
レポート	① <input type="checkbox"/> ② <input checked="" type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/>	発表後に指定された課題のレポートを作成し、Teamsにて提出する。採点項目は分量、考察内容、文献の使用、誤字脱字の有無とする。	Teamsにてレポート返却を行う。

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

評価のポイント		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
評価方法	行動目標			
成果発表	①	4 回の実習後に事前に指定された課題について発表準備を行い、スライド発表を行う。評価項目は態度、考察内容、適切な発表、適切な文献の使用、質疑応答の内容とする。	発表後にフィードバックを行う。	
	②			✓
	③			✓
	④			✓
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
<p>担当教員：◎海保享代、山鹿隆義（11～14 回）、 榎田哲弥（1,3,6,7,10,11,13,15,16,19,20 回）、浅野克俊（4,8,12,14,17,21 回）、池谷政直（13・14 回） 授業は面接授業で実施する。 授業内で測定などを行う際は動きやすい服装で準備をしておくこと。 大学構内での授業受講に際して、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。 受講態度に問題がある学生は退室をしてもらうので注意すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性はある。 課題提出は Teams を使って行う。</p> <p>教員の実務経験：作業療法士免許を有したのち 10 年以上の臨床業務経験 実践的授業の内容：臨床での運動学の知識の活用や疾患の説明を加えることにより、実践的な運動学に関する知識と技術の獲得を促す。</p>				